

美術科特集号

今号は平成 23 年度に美術科が行った様々な活動から Fresh なトピックスを Pick Up。詳しく特集してお届けします。また、新しく生まれ変わるデザイン専攻の紹介も Check it up!

CONTENTS

01	2011年度の学内ギャラリーの展示報告	09	オーハタパール「真珠商品デザイン開発」
02	学内ギャラリーで展示した制作者の談話	10	「日本NP協議会」のロゴマークを制作
03	中国・江漢大学と「第1回美術作品同展」を開催	11	地域物産商品ラベルのリニューアル企画
04	「アートの風（創立50周年記念巡回展）」を開催	12	美術科合同制作展「つむつなぐ」を開催
05	テオ・ヤンセン展に「ビーチアニマル」を出品	13	第50回美術科卒業制作展を開催
06	「おおいた協働ものづくり展」に出展	14	2012年度の学内ギャラリーの展示予定
07	地域ふれあいアート講座の報告	15	デザイン科の新しいコースの紹介
08	イルミネーションプロジェクト「竹ほたる」		

01 2011年度の学内ギャラリーの展示報告

2011年度は、以下のように20企画が展示を行いました。次ページでは企画内容と感想を Pick up!

4/4	～	4/15	「包む」カタチ展
4/18	～	4/29	「おもひで本舗」
5/2	～	5/13	「ぎゅ。」
5/16	～	5/27	「○△□(テクノストレス)展」
5/31	～	6/10	「Rendez-vous」
6/13	～	6/24	「竹の造形習作展」
6/27	～	7/8	「ハタチノ創造」
7/8	～	7/29	「卒業・修了収蔵作品展」
9/26	～	10/5	「kotoba asobi 展」
10/6	～	10/15	「5／7人展」
10/17	～	10/26	「我楽多(ガラクタ)」
10/27	～	11/5	「特撮魂+α」
11/7	～	11/16	「実は・・・展」
11/21	～	11/30	「Garret」
12/1	～	12/10	「うつす」
12/12	～	12/21	「処女展」
1/10	～	1/17	「恥。hajimaruru」
1/18	～	1/24	「悠花と千穂」
1/25	～	1/31	「色味」
2/1	～	2/7	「バラエティ。」

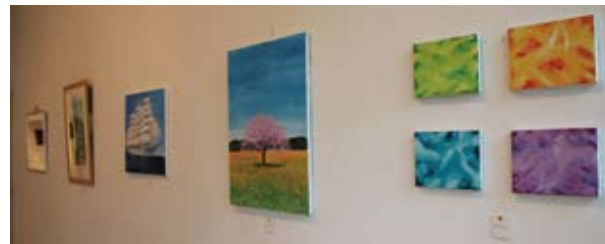
デザイン専攻ビジュアルデザイン2年生有志
東山紗弓(デザイン専攻ビジュアルデザイン2年)
柿元咲子(専攻科造形専攻2年)
柳野郁子他(専攻科造形専攻1年)
佐々木優季(専攻科造形専攻1年)
デザイン専攻ビジュアルデザイン1年生有志
中林章史(美術専攻2年)
吉田宗正(音楽科2年)
猪頭・松元・津山・入江・清松(デザイン専攻生活造形2年)
山口泰生(国際文化学科2年)
鎌田竜輔(専攻科造形専攻1年)
近藤絵里奈(専攻科造形専攻2年) 渡辺みどり(デザイン専攻生活造形2年)
佐土嶋友香(専攻科造形専攻2年)
高本佳奈(美術専攻2年)
東郷美佳(美術専攻2年)
大畑・南(美術専攻2年)
岩田・吉栖(専攻科造形専攻1年)
加藤・近藤・矢野(専攻科造形専攻1年)
田中・木村・矢田(美術専攻1年)

02 | 学内ギャラリーで展示した制作者の談話



6月27日（月）～7月8日（金）
「ハタチノ創造」
中林章史（美術専攻2年）

独自のテーマに沿った中で描いた絵が、みんなに少しでも感じ取ってもらいたいということで、本学でギャラリー展示をおこないました。



うまく絵が描けた達成感と、喜んでもらえること、見ていて感じが伝わるということが僕にとって何よりです。今後とも自分なりの創造と考え方を見つけながら努力していきたいと思います。



12月1日（木）～12月10日（土）
「うつす」
高本佳奈（美術専攻2年）

「絵は描いて終わりじゃなくて、人の目に触れてこそ意味をもってくるのかも」展示中に頂いたコメントを読みながら、そう思いました。初めての展示で、反省点も多かったけど、見て下さった人の反応が新鮮で、刺



激になりました。次の作品に繋がる展示になったと思います。ありがとうございました。



12月12日（月）～12月21日（水）
「処女展」
東郷美佳（美術専攻2年）

今回の個展「処女展」をやって、本当に楽しい経験を得られました！

展示の仕方、絵のテーマについての追求の仕方、ポスターや個展名の与える影響、来る人の感想等、1人で黙々と描いた作品がこのような場でたくさんの人に見られるというのは不安もあったけどワクワクもあって、怖いけど楽しい不思議な思いをしました。またこのような展示をしたいなって思いました！



1月10日（火）～1月17日（火）
「恥。hajimaru」
大畑大貴（美術専攻2年）
南雅喜（美術専攻2年）

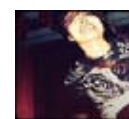
大畑大貴
今回の個展「恥。hajimaru」を通して自分の作品に対するの意見や感想を様々な学科の方にいただいて自分の作品の良い点と悪い点や作品に対する疑問と答えが見つかり自分自身を見つめ直すことができたと思います。また個展ができるチャンスがあれば新しいことに踏み込んだ作品を展示したいです。



南雅喜
大畑くんの作品を引き立てるBGM役として今回個展に参加させて頂きました。
絵画と映像は時に共鳴し、時に反発します。
大畑くんの作品とは相性が良かったみたいです。
とても貴重な経験になり、今後僕がやりたいことが明確化しました。見て下さった方、ありがとうございました。



1月18日（水）～1月24日（火）
「悠花と千穂」
岩田悠花（専攻科造形専攻1年）
吉栖千穂（専攻科造形専攻1年）



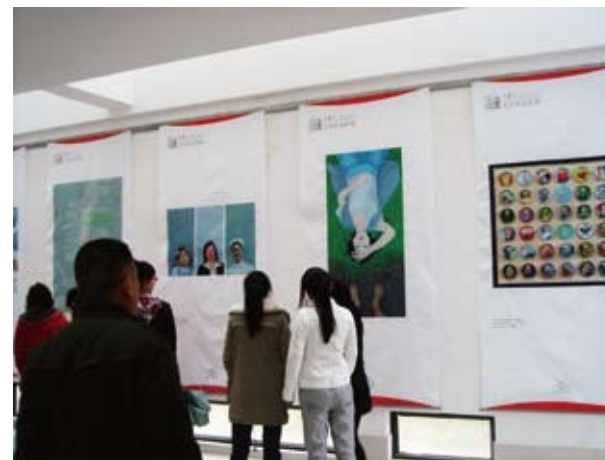
今回の展示では制作も同時に行いました。一週間という短い期間でしたが、普段とは違う空間で、今までできなかったような制作ができ、とても有意義な一週間でした。

一つの空間を作り上げる面白さや難しさを学びました。それと同時に今後の制作意欲が湧きました。私にとって今回の展示はとても良い機会でした。楽しかったです。



03 | 中国・江漢大学と「第1回美術作品合同展」を開催

大分県立芸術文化短期大学創立50周年記念事業として中国・江漢大学と「第1回美術作品同展」を2011年4月6日～12日、iichiko 総合文化センター（大分市）で開催。



本学と中国・江漢大学との間で2009年2月に相互交流協定を締結しました。両学の美術科の発展を促進すると同時に、両学間の交流を深めていくため、美術作品展を合同で、しかも各々の地で同時に開催しました。
第1回目の共通テーマは「融」とし、各大学で応募があった作品の中から30点ずつを優秀作品として選抜



し作品のパネルを展示しました。これらの作品展示を通し、学術交流や学生交流はもとより、地域の方に大学についてより知ってもらう機会となりました。なお、第2回美術作品合同展は、美術作品を通してお互いの芸術文化を知ろうという意味を込めて共通テーマは「知」と決定。2012年4月にアートプラザ・アートホールで開催します。

04 | 創立50周年記念県内巡回展「アート」を開催



毎年行われる卒業・修了作品の中から買い上げた収蔵作品を選抜し、県下5会場で展覧会を開催しました。大分会場（大分県立芸術会館）では、「美術科50年の歩み」と題して各年代作品の展示と、現在学生の指導

50周年記念事業として「アートの風」を大分空港ロビー（2011年7月26日～31日）を皮切りに5会場で開催。



にあたっている教員の作品も併せて展示しました。この展覧会で美術科の歴史と魅力を感じていただけたことと思います。

国東市／大分空港ロビー
7月26日（火）～7月31日（日）

日田市／パトリア日田
9月2日（金）～9月11日（日）

竹田市／竹田キャンパス
9月27日（火）～10月9日（日）

佐伯市／市民ギャラリー
10月18日（火）～10月28日（金）

大分市／大分県立芸術会館
「美術科50年の歩み展」
11月8日（火）～11月13日（日）

05 | テオ・ヤンセン展に「ビーチアニマル」を出品



大分市美術館で開催されたテオ・ヤンセン展の会期に合わせて美術科で制作したオリジナル「ビーチアニマル」を展示し、2011年8月6日の七夕まつりに参加しました。

今回のプロジェクトに参加したのはデザイン専攻の短大1年生～専攻科2年生の10名。約1ヶ月の短い制作期間でコツコツと地道な作業が進められました。素材には新聞紙と薄い合板が使われておりオリジナリティのある作品が完成。当日は新聞紙の独特な素材感が多くの方々の目を引き好評でした。テオ・ヤンセン展の会期中は大分市美術館に展示され、現在は学内に展示しています。（写真は2011年大分七夕まつりの模様。）

06 | 「おおいた協働ものづくり展」に出展



2011年10月8日～10日にプロダクトデザイン分野の学生がアートプラザで行われた「第6回おおいた協働ものづくり展」に出展しました。

「おおいた協働ものづくり展」は大分市の製造業の紹介や県内大学や高等専門学校等の研究成果の発表を通して大分県のものづくりについて一般の方々に知ってもらおうというイベントです。今回はプロダクトデザイン分野で学ぶ2年生の前期課題作品を中心に展示。3Dプリンターで出力したモデルや、木工作品などおよそ20作品が展示されました。会期中は実際にデザインした学生が作品の説明を行い、学生にとっては学外での初の発表の場となりました。2012年度の『第7回おおいた協働ものづくり展』にも出展予定です。

07 | 地域ふれあいアート講座の報告



2011年11月25日に生活造形分野を学ぶ1年生22名が豊後大野市立新田小学校で「地域ふれあいアート講座」を開催しました。

美術科では、毎年県内の小学校の児童を対象にアイデアを「かたち」にする面白さや、手を使って創作する楽しさ等を体験してもらうことで、地域の芸術文化の向上に貢献する事を目的として巡回講座を行ってます。今回は豊後大野市立新田小学校の1年生～4年生の児童49名を対象に1、2年生と3、4年生に分かれデザイン画を制作しました。1、2年生では「木」をテーマに枝や落ち葉、木の実を持ち寄り、絵具やクレヨンで彩られた画用紙に貼付けオリジナルの「木」を制作。3、4年生では「自分の顔」をテーマに雑誌や新聞から切抜いた顔のパーツを画用紙に貼付け絵具やクレヨンで顔を表現した。完成した作品の一部は第31回県ジュニアデザイン展で展示される予定です。

08 | イルミネーションプロジェクト「竹ほたる」



豊後竹田駅前、稲葉川河畔にデザイン専攻生活造形の学生が手がけた「竹ほたる」が2011年12月～2012年1月末まで2ヶ月に渡って展示されました。

竹田の町並みや、城下町竹田の雰囲気合ったイルミネーションのあり方を探りながらアイデア出しを行い、稲葉川河畔を乱舞するホテルをイメージさせるプランに決定。制作は竹田市まちづくり実行委員会の協力のもと、竹マリと呼ばれる球状の立体を竹で制作しその周りに電飾を取り付けホテルを表現しました。第1回目だったのですが、地元の方々の反響が大きく24年度はさらに範囲を拡張した「竹ほたる」が展示される予定になっています。

09 オーハタパール 「真珠商品デザイン開発」



プロダクトデザイン分野では地域企業と2011年11月～2012年1月まで商品開発を行い、真珠養殖体験を経て2012年1月24日に最終プレゼンテーションを行いました。

今回のプロジェクトは大分県佐伯市で真珠の養殖から生産販売まで自社で行う有限会社オーハタパールとの共同デザイン開発です。
このプロジェクトに参加したのはプロダクトデザイン分野で学ぶ短大1年生の11名。真珠のリサーチではより深く真珠を理解する為に実際に真珠養殖の作業を体験。最終プレゼンテーションでは3DCGやグラフィックソフトを使いプレゼンテーションパネルを制作し関係者に向けてプレゼンテーションを行いました。
今後、今回提案した作品は百貨店のバイヤーや関係者に公開され、商品化の可能性のある作品については試験的に市場に投入される予定です。

10 「日本NP協議会」の ロゴマークを制作



デザイン専攻2年生の田井啓介さんの作品が採用され、日本NP協議会認定の公式のロゴマークとして使用されています。

日本NP協議会は、日本のどこに住んでいても、いつでも公平に医療を受けることができる社会の実現を目指して、NPの養成に向けた大学院教育を推進し、NPの教育標準化や制度化に向けた取り組みや活動を行っている組織です。
この協議会の活動を推進している大分県立看護科学大学からの依頼により、本学の学生がコンペ形式によるロゴマークの制作に取り組んだ結果、デザイン専攻2年生の田井啓介さんの作品が採用されました。また、専攻科造形専攻1年生の道田麻衣さんが制作した爽やかなブルーが印象的な円形のロゴマークの作品も審査関係者の評価が高く、実習生のワッペンとして使用されることになりました。

11 地域物産商品ラベルの リニューアル企画



大分県九重町宝泉寺温泉にある、料亭「旬菜ふくしょう」と地域物産商品ラベルのリニューアル企画を進行しています。

現在、造形専攻ビジュアルデザインコースの学生4名を中心に、ラベルのリニューアル企画を進行しています。商品は、九重町の特産品である九重“夢”ポークや大分県産椎茸などを原料とした「九重“夢”ポーク肉味噌ラー油」2種類です。昨年秋から試食会や味・イメージに対するアンケート調査、現地視察等を行い、デザイン提案を数回重ねて2012年3月現在ラベルの完成まであと少しとなりました。

12 美術科合同制作展 「つむつなぐ」を開催



美術科1年生が2012年2月6日から一週間、大分市内のギャラリーで有志による合同制作展を行いました。

この合同展のきっかけとなったのが「美術科同士の交流がないね」という学生同士のツイッターによる会話だったそうです。タイトルは「つむつなぐ」。美術専攻とデザイン専攻を紡ぎ、さらにはこれまでの過去と現在を紡いで、未来に繋いでいってほしいという気持ちが込められています。またそれぞれの作品に共通するテーマは「あなたのふるさと」で絵画から立体作品、インスタレーションなど幅広いジャンルに展開されました。会期中は来場者も合同制作に参加することが出来る仕掛けが用意され学生とともに一枚のコラージュ作品を完成させました。

13 第50回美術科卒業制 作展を開催



2012年1月31日から2月5日まで大分県立芸術会館にて第50回美術科卒業制作展が開催されました。

美術専攻

美術専攻では短大2年間の卒業制作として、20名による絵画56、彫刻9、映像1点の作品、更に2年間在籍した専攻科の修了制作として、8名による絵画16、彫刻4、計85点の作品を展示しました。

デザイン専攻ビジュアルデザインコース

ビジュアルデザインは各学生が課題テーマ作品と自由作品を制作しました。今年の課題テーマは『知』で、まさに知恵を絞ったさまざまな作品が競い合い、見る人の眼を楽しませてくれました。自由作品はスマートフォンの日めくりカレンダーや県立美術館のVI（ビジュアル・アイデンティティ）計画、楽しくも泣かせるアニメーション、伝統と現代感覚が織りなす美しいパッケージ、見る人の心を惹きつけるユニークキャラクターなどを展示しました。

デザイン専攻生活造形デザインコース

卒業・修了制作が、学生生活の“まとめ”であり、次のステップへの重要な第一歩であることはまちがいありません。今までに経験し、考え、悩んできたことの中で獲得してきた自身の持てる力をフルに活かし、自己のテーマを目に見える形にすることこそが、この“まとめ”の最も重要な点です。そんな視点で今年の卒業・修了制作をながめてみると、自己のテーマを決める段階での試行錯誤（try and error）が不足しているため、また完成を急ぐあまり、作品の質が多少大味で、表現の密度が足りないように感じられました。



14

2012 年度前期の学内 ギャラリーの展示予定

2012 年度の前期期間のギャラリーの展示予定です。下記予定を参考にご来場下さい。

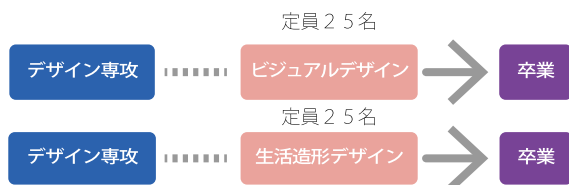
4/3 (火) ~	4/13 (金)	デザイン専攻ビジュアルデザイン 2 年生有志
4/16 (月) ~	4/23 (月)	西森晴香展 (美術専攻 2 年)
4/24 (火) ~	5/1 (火)	古谷仁美・守屋愛展 (美術専攻 2 年)
5/2 (水) ~	5/10 (火)	田中愛理展 (美術専攻 2 年)
5/11 (金) ~	5/18 (金)	江坂祐子展 (美術専攻 2 年)
5/21 (月) ~	6/28 (月)	3 人 (岡元・加藤・木原) 展 (デザイン専攻 2 年)
5/29 (火) ~	6/5 (火)	佐々木優季展 (専攻科造形専攻 2 年)
6/6 (水) ~	6/13 (水)	森山楓展 (美術専攻 2 年)
6/14 (木) ~	6/21 (木)	5 人 (鈴木・木村・浜崎・山口・渡辺) 展 (美術専攻 2 年)
6/22 (金) ~	6/29 (金)	彫刻演習課題展 (デザイン専攻 1 年)
7/2 (月) ~	7/9 (月)	鎌田竜輔展 (専攻科造形専攻 2 年)
7/11 (水) ~	7/17 (火)	卒業修了収蔵作品展
7/19 (木) ~	7/26 (木)	加藤明日香展 (専攻科造形専攻 2 年)
7/27 (金) ~	8/7 (火)	矢田未来展 (美術専攻 2 年)

15

平成 25 年度からデザ イン専攻が新しくなり ます。

従来まで、デザイン専攻を受験するときには受験申請時にビジュアルデザインコースもしくは生活造形デザインコースを第 1 次希望か第 2 次希望で選択する必要があり、入学後はそれぞれのコースを変更する事はできませんでした。下のイメージを参考にしてください。

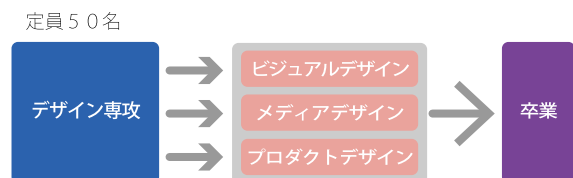
従来のデザイン専攻の受験イメージ



デザイン専攻がビジュアルデザインコース・メディアデザインコース・プロダクトデザインコースの 3 コース制に変わります。

平成 25 年度からの受験では、第 1 次希望及び第 2 次希望をなくして、デザイン専攻で全員の可否を判別します。ですから、入学するときにビジュアルデザインコースにするか生活造形デザインコースにするか悩む必要はなくなります。

平成 25 年度からのデザイン専攻の受験イメージ



では、いつ頃どのようにしてコース分けするのでしょうか？

それでは、デザイン専攻に入学したらいつ頃コース分けが行われるのでしょうか？入学後、1 年生前期のデザイン基礎の授業で Photoshop や、Illustrator、等デザイン分野で必須のソフトの授業を全員で受講した後、それぞれの希望やデザインスキルに合わせて 1 年後期からそれぞれのコースに配属されます。

